

令和4年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会  
作業技術研究会（冬期） 開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会長  
農研機構東北農業研究センター  
水田輪作研究領域長 迫田登稔

## 1. 趣 旨

東北農業試験研究推進会議運営要領に基づき、東北地域農業に係わる作業技術分野の試験研究を適切かつ円滑に推進するため、農研機構東北農業研究センター及び公設試験研究機関等の関係者が参集し、現場段階での技術的課題等について議論するとともに、当該分野が重点的に取り組むべき研究開発とその推進方向について検討する。

「みどりの食料システム戦略」の実現には、スマート農業技術の活用が不可欠である。研究会では、現時点における各県のスマート農機に関する研究事例、導入事例の情報を共有することで、どのように現場へ適用できるか、展開方向について議論を深める。

2. 開催日時 令和5年1月24日（火） 13:20～17:00  
1月25日（水） 9:10～12:00

3. 開催場所 アイーナ（いわて県民情報交流センター）会議室501  
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1

## 4. 議 題

1月24日 13:20～17:00

1) 開会・挨拶

2) 重点検討事項「スマート農機に関する研究および導入事例を踏まえた『みどりの食料システム戦略』実現に向けた展開方向」に関する話題提供

(1) 西日本におけるスマート農業取組みの事例紹介（仮）

農研機構 本部企画戦略本部研究統括部 スマート農業事業推進室 大黒 正道

(2) 北海道におけるスマート農業取組みの事例紹介（仮）

農研機構 本部企画戦略本部研究統括部 スマート農業事業推進室 澁谷 幸憲

(3) 各県及び東北農研におけるスマート農業取組みの事例紹介

(4) 総合討論

1月25日 9:10～12:00

3) 研究成果情報の検討・確認

4) 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定

5) 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討

6) 令和5年度作業技術研究会(夏期)についての意見交換

7) 閉会

## 5. 参集範囲

国立研究開発法人試験研究機関および公設試験研究機関の関係者、農林水産省、大学、県行政部局・県普及部局の関係者、その他推進部会長が必要と認める者

## 6. 連絡先

事務局：農研機構東北農業研究センター 農業放射線研究センター 金井 源太  
〒960-2156 福島県福島市荒井字原宿南50  
TEL:024-593-5151（代表） E-mail:kanaigen@affrc.go.jp

## 7. その他

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況によっては、開催を中止とする場合や、リモート会議またはメール会議等に開催方法を変更する場合があります。
- ・体調不良（発熱や咳、咽頭痛や倦怠感、嗅覚・味覚障害等）の場合には参加をお控えください。
- ・会場入口での検温および手指消毒、室内等でのマスク着用にご協力をお願いします。
- ・（リモート開催の場合）リモートの拠点となる会議室等に複数人数が参集する場合、各機関の担当者は会場が三密の状況にならないよう留意するとともに、参加者には検温、手指消毒の励行並びに発言の有無に関わらずマスクの着用を指示ください。
- ・万一、会議参加者に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に参加者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。